

《運搬車》

作成：平成29年2月24日

	車両形式	積載量 (kg)	積載可能寸法 (cm)		
			全長	全幅	高さ
1	10 t ダンプ車 (クレーン付)	7,100	630	220	140
2	10 t ダンプ車 (クレーン付)	9,000	680	220	140
3	10 t 脱着装置付コンテナ専用車 (アーム式)	11,300	628	220	190
4	10 t 脱着装置付コンテナ専用車 (アーム式)	10,700	600	220	190
5	10 t ダンプ車	10,400	900	225	160
6	8 t 平ボディ車 (クレーン付)	5,300	550	210	100
7	7 t 平ボディ車 (クレーン付)	5,400	482	215	810
8	4 t 脱着装置付コンテナ専用車 (アーム式)	3,400	350	190	100
9	4 t 脱着装置付コンテナ専用車 (アーム式)	3,600	350	190	100
10	3 t 脱着装置付コンテナ専用車 (アーム式)	3,000	260	153	90
11	7.5 t 平ボディ車 (クレーン付)	4,600	515	210	80
12	4 t 平ボデー車	3,750	565	200	70
13	5 t 機械式収集車 (圧縮板式)	3,800	365	204	166
14	4 t 機械式収集車 (圧縮板式)	1,900	316	204	166
15	4 t 機械式収集車 (圧縮板式)	1,800	300	204	166
16	4 t 機械式収集車 (圧縮板式)	1,900	315	204	166
17	3.5 t パワーゲート	3,500	440	200	200
18	2 t パワーゲート	1,800	313	174	154
19	ステーションワゴン	*****	419	169	151
20	キャブオーバー (軽トラ)	350	339	147	179

19,20は、車自体の大きさ

《産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車にかかわる低公害車の導入の状況》

1. 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車にかかわる低排出ガス車の導入の状況

運搬車の排ガスレベル	台数 (割合)		【参考】台数 (割合)	
	H29.2時点		H28.10時点	
全保有台数	20	(100.0%)	18	(100.0%)
①平成元年規制適合車	0	(0.0%)	0	(0.0%)
②平成6年規制適合車	2	(10.0%)	2	(11.1%)
③平成10年規制適合車	2	(10.0%)	1	(5.6%)
④平成11年規制適合車	1	(5.0%)	1	(5.6%)
⑤平成15年規制適合車	1	(5.0%)	1	(5.6%)
⑥平成17年基準NOx・PM10%低減重量車★	5	(25.0%)	5	(27.8%)
⑦平成17年基準PM10%低減重量車☆	1	(5.0%)	2	(11.1%)
⑧平成17年基準排出ガス50%低減車☆☆☆	1	(5.0%)	1	(5.6%)
⑨平成19年規制適合車	1	(5.0%)	1	(5.6%)
⑩平成21年規制適合車	2	(10.0%)	1	(5.6%)
⑪平成21年基準NOx・PM10%低減重量車	2	(10.0%)	0	(0.0%)
⑫平成22年規制適合車	1	(5.0%)	1	(5.6%)
⑬平成22年基準NOx・PM10%低減重量車	1	(5.0%)	2	(11.1%)
【低排出ガス車の導入目標】 平成35年末までに上記⑩+⑫+⑬の占める割合を、全保有台数の25%以上とする。				

2. 産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況

運搬車の排ガスレベル	台数 (割合)		【参考】台数 (割合)	
	H29.2時点		H28.10時点	
全保有台数	20	(100.0%)	18	#####
平成17年度燃費基準達成車	①-----	(0.0%)		(0.0%)
	②10%低減レベル	(0.0%)		(0.0%)
平成22年度燃費基準達成車	③-----	2 (10.0%)	2	(10.0%)
	④5%低減レベル	(0.0%)		(0.0%)
	⑤10%低減レベル	(0.0%)		(0.0%)
	⑥15%低減レベル	(0.0%)		(0.0%)
平成27年度燃費基準達成車	⑦25%低減レベル	(0.0%)		(0.0%)
	⑧-----	5 (25.0%)	5	(25.0%)
	⑨5%低減レベル	2 (10.0%)	0	(0.0%)
【低燃費車の導入目標】 平成35年末までに上記⑧+⑨の占める割合を、全保有台数の40%以上とする。				